



善福寺川沿いの桜並木を守り育てていくとともに、都立善福寺川緑地が快適で誰もが楽しめる公園となるよう、定期的に緑化保全活動を行っている。今年7年目を迎えるその活動についてうかがってみた。

小原健一さん 杉並区立ゆうゆう西田館の事務局長



▲見事に咲く善福寺緑地の桜(五日市街道尾崎橋から撮影 写真提供：小原健一さん)

■日々の散歩で気づいた、桜の衰弱

会社をリタイアし、多くの自分の時間を持つようになった時に、善福寺川緑地を散歩するのが毎朝の習慣でした。そうして桜並木を日々眺めているうちに、桜の木が弱ってきていることを感じていました。

そもそも、自由な時間を多く持てるようになり、自分が何をしようか。それを整理するために「私の時間割」というものを作りました。一日の自分の行動をそれで把握するわけですが、空いている時間のうちの数時間をボランティア活動にあてようと思い立ちました。

そしてまず、東京・奥多摩の体験の森で行われた「通年林業ボランティア育成講座」に参加し、そこで地拵え、植樹、間伐、枝打ち、下刈りなどを経験して、その後、実際に手入れされていない森に入り、間伐、枝打ち

などのボランティア活動をしました。緑を守る、という活動が、もっと自分の身近でもできないだろうか、と思っていたところに、杉並区でも「緑のボランティア」という活動の募集が区民対象に行われ、早速応募。その時には100人ぐらいの応募者が集まり、自分がやってみたいテーマが45ほどあがったわけですが、私もその中で「善福寺川のさくらを守る」ということを提案しました。そして最初3人からこの活動が始まったわけです。今は18人の会員と共に、月2回の活動を続けています。

■地域の公園を「庭」と考え、何ができるのかを探る

自分たちの住まいの身近にある公園を、自分たちの庭、「マイ公園」として考えたとき、その緑を守るためにどんな活動ができるだろう。ある日、善福寺川緑地の管理事務所を突然訪ね、「なにか手助けできることはないですか」と、自分からアプローチしてみたわけです。最初は「十分職員で手は足りています」という答え。ですが、もしこちらで気づいていないことがあれば提案して下さい、と言われたので、そこから緑地内の桜についての本数調査を始めてみました。今から5年ほど前に調べたときは、サクラの総本数は500本以上あり、ソメイヨシノがその6割。そのほか、ヤマザクラやオオシマザクラ、カンヒザクラ、数種類のサトザクラなど。ただ、弱っているものや台風などで倒木したものも調査後に目にしているもので、その本数は減っていると思います。

善福寺緑地は都立公園ですが、管轄が都でも区でも、杉並区にあるのですから、やはり区民の地域財産です。それを大切に守り、親しみのもてる公園づくりの手助けをしたい、と思い、職員の方々との相互協力の中で活動を続けてゆくことになりました。





■「善福寺川さくらの会」の活動の様子



▲桜の根元に下草を植える

春になって花見見物で大勢の人が来る前に、桜の根元に下草などを植えます。桜が弱る原因の1つには、根元が踏まれてしまったりすることがあるので、たとえば樹の真下にレジャーシートを敷いて座ったりすると、桜を傷めてしまうこととなります。それを回避するために、周囲に下草を植えたりします。



▲ヒコバエ剪定(善福寺川さくらの会)

また、新しい枝などが根元の方から生えてきてしまうのを「ヒコバエ」というのですが、これも主幹の勢いを弱めてしまうので切って取り除きます。このほかにも、樹の表面についたきのこやカビなどの菌を取り除いたりする作業をしています。



▲善福寺川さくらの会の活動の様子

近年、樹が弱ったり、倒木したり、枯れたりしたりしていますので、次世代の樹を育てるのも活動の1つとなります。平成17年の春には、財団法人日本花の会から苗木を数十本寄付してもらい、並木を美しくするために場所を選びながら、新しい苗木を植えました。まだ小さいのですが、新しい品種のものも植えましたので、十数年後には大きくなり、美しい並木を飾ってくれるとよいと期待しています。

秋には枯れ葉を集め、米ぬかなどを混ぜて寝かせ、腐葉土を作ります。このほかにも、廃材などを利用して、樹木板をつけたり、桜のみならず、緑地内の花壇に季節の花々を植えて整備をしたり、解体予定の荻窪団地からアジサイをもらって小道を作るために植替えたりと、年間を通じて緑地の緑化保全活動を続けています。



▲善福寺川さくらの会の展示会の様子

3月には、私たちの活動を知っていただくために、緑地のせきれい橋そばにテントを置き、パネルなどを掲げて展示会なども行っています。ご興味や関心のある方が増えて、この活動に参加して下さると大変うれしいと思っています。私たちの暮らしのそばにある、「マイ公園」。この素晴らしい緑に恵まれた環境を守ってゆきたいものです。善福寺

川沿いの桜はカンヒザクラ、ソメイヨシノに始まり、サトザクラのカンザン、フゲンゾウまで見頃は3月中旬から4月中旬まで長く楽しむことができます。ぜひ一度足を運んでいただきたいです。

(文：山崎優佳子)